



宝城中学校だより

令和8(2026)年5月22日

第42号

校長 小田 哲也

学校教育目標：「志をもち、よりよい社会の創り手として未来を切り拓く生徒の育成」

Ⅰ. 体育大会「心の底から、協力しあいました。」

5月17日、「和仲協同 ～想いを一つに～」をスローガンに宝城中学校の第77回体育大会が行われました。天気は雲一つない青空、熱中症の心配はありましたが、多くの来賓の皆様、保護者の皆様に見守られる中、生徒のみんなが全力で、体育大会を大いに盛り上げ、最高の体育大会をつくりあげてくれました。

講評の時にスローガンのもとになった「和衷協同」(わちゅうきょうどう)の意味「心の底から協力し合うこと」を伝えましたが、「全力」を出し切り、お互いの役目をきちんと果たすことで、お互いを認め合い、心がつながる瞬間があったと思います。だからこそ、「楽しかった」のだと思います。

私は、他人の目が気になる思春期のこの時期に、『自分の持てる力を開放する経験』が大切だと考えています。他人の嘲笑やからかいに負けない自分をつくりあげていくことが、この先の社会の中で、自分の力を発揮するために必要になってくるはずです。学級や学年、学校全体の雰囲気「お互いが力を発揮できる」ように、これからの生活の中でも雰囲気作りをして欲しいと考えています。

<学年全員で記念撮影>



※自分でつくった壁を「突き抜ける瞬間」と出会えましたか？

2. 味坂ポピー祭りが行われました。

今年も、5月5日（火）と5月6日（水）の2日間で、校区のお祭りである味坂ポピー祭りが行われ、PTA役員の皆様、なじみ会の皆様、ご協力いただける保護者の皆様にお力添えいただき宝城中学校PTAとして参加させていただきました。コロナ禍で参加を取りやめていたのですが、保護者のみなさんが顔なじみになる機会として位置づけ、復活してから3年目となりました。ご協力いただいた役員の皆様、なじみ会の皆様、ボランティアに来ていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



【ボランティア説明会の様子】

また生徒のみなさんにも、地域のボランティアに参加する機会と位置づけて、ボランティアを募っているのですが、今年は40名を越える参加がありました。参加人数が増えボランティアが行う仕事がそんなに用意できないとのことで、1日目の午前と午後、2日目の午前と午後に分けて、出店している店の販売等のお手伝いを行いました。参加している生徒のみなさんは、自らの意志で参加していることから、生き生きと活動していました。また地域に貢献するという経験はなかなかできないことなので、充実感があったと思います。地域の皆さんも、大変喜んでおられ、具体的に地域へ貢献すること、人との交流の仕方など学ぶことも多かったと思います。参加した生徒のみなさん、ありがとうございました。

<当日のお手伝いの様子>（掲載できていない人もいます、ごめんなさい。）



※『誰かの役に立っている』という実感は、自分に自信をつけるきっかけになります。